

授業科目

公衆衛生学（疫学を含む）

担当教員名 遠藤 和男	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

授業の概要

地域看護学とその実践である地域保健活動にとって、「疫学」はいわば原理と方法論であり、一方いわゆる保助看護での「公衆衛生の普及向上」とは、実践である。地域看護学は応用編であり、その前に基礎となる疫学を含めた公衆衛生学を学習することになる。なお、2年次での「疫学」は導入であり、本格的には3年次の「保健統計学」で学修する。

授業の目的

地域看護学の基礎となる、疫学の原理や方法論、公衆衛生学での実践について理解する。

学習目標

1. 疫学及び公衆衛生学の定義を説明できる。
2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。
3. ライフステージ毎に特有な健康問題を指摘できる。
4. 主要な疾病について宿主要因と環境要因とを区別できる。
5. 疾病それぞれの予防方法について実践したり援助できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	疫学及び公衆衛生学の定義と歴史について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
2	日本の人口構成の変化と人口動態統計について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
3	地域保健で用いる指標：罹患率などについて学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
4	衛生行政：保健所と市町村の役割分担について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
5	環境保健1：生物学的な環境要因について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
6	環境保健2：物理、化学的な環境要因について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
7	環境保健3：社会・経済的環境要因について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
8	成人保健1：AIDSなどの感染症について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
9	成人保健2：がんの原因と予防策について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
10	成人保健3：循環器疾患等について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
11	産業保健、労働衛生について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
12	母子保健及び学校保健について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
13	高齢者の保健対策、介護保険について学ぶ。	講義+小テスト	遠藤 和男
14	精神保健等について学ぶ。	講義	遠藤 和男
15	まとめ	講義と演習	遠藤 和男

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2017	鈴木庄亮、久道 茂	南江堂	2017年	2,400円+税	
参考書	これからの公衆衛生学 改訂第2版	田中平三編集、遠藤和男ほか	南江堂	2013年	3,200円	
その他の資料	毎回レジュメを配布するので、ノート代わりに書き込むこと。					

評価方法

- 1) 毎回の小テストの主たる目的は復習であるが、約20%とする。
- 2) 国家試験形式による試験成績を約80%とする。

履修上の留意点

- ・ 3年次の「保健統計学」と多少重複する事項があるものの、重要な場合はあえて重複して教えるものとする。

オフィスアワー・連絡先

後期とも火曜日 5限

endo@nuhw.ac.jp

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。